

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第70号	氏名	中村 禎子
学位審査委員	主査	青柳 潔	
	副査	中込 治	
	副査	溝田 勉	
論文審査の結果の要旨			
<p>1. 研究目的の評価</p> <p>本研究は開発途上国スラム街の小児を対象としてフラクトオリゴ糖を継続摂取させることによる体重増加ならびに下痢発症抑制、および下痢症状改善に対する有効性を検討したもので、研究目的は妥当である。</p>			
<p>2. 研究手法に対する評価</p> <p>小児下痢症の多発するバングラデシュ都市部郊外のスラム街において、無作為二重盲検プラセボ試験を実施した。6ヶ月間連続してフラクトオリゴ糖を摂取させ、摂取前と摂取後の体重増加、ならびに6ヶ月間の下痢発症および下痢症状の改善効果を解析した。以上の研究方法は妥当である。</p>			
<p>3. 解析・考察の評価</p> <p>解析の結果、フラクトオリゴ糖摂取による体重増加および下痢発症に対する有意な効果は認められなかった。一方、6ヶ月間の下痢の総日数はフラクトオリゴ糖摂取群で有意に少なかった。フラクトオリゴ糖摂取により下痢発症の予防効果は認められなかったが、下痢症状の改善効果が認められることを明らかにしており、評価できる。</p>			
<p>以上のように、本論文は、フラクトオリゴ糖の継続摂取は体重増加改善と下痢発症予防に対しては限界があるが、発症後の下痢症状改善については効果があることを示し、今後の開発途上国の小児下痢症に関する研究に貢献するものであり、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			